

地域における琉球銀行

地域とともに

社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、公益信託代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

～経済と環境について学ぼう～ 「りゅうぎんキッズスクール」



熱心にゲームに取り組む生徒たち



琉球銀行では、県内の小学生に対する経済教育を目的として、夏休み期間中に小学校高学年の生徒を対象に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。経済の仕組みやお金の流れ、銀行の役割などを楽しいゲームを通して学ぶもので、参加児童、父母から好評を得ています。今年も、沖縄の自然環境やアウトドアについて学ぶ「環境ミニセミナー」もあわせて開催する予定で、継続的なCSR活動の一つとして位置付けています。



観戦チケット500枚を県社協、県セルフセンターへ贈呈



試合会場内に設置された授産施設の商品販売ブース

「りゅうぎんユイマール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「りゅうぎんユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。平成20年度には、「沖縄県交通遺児育成会」、「歳末たすけあい募金」、県内の小規模作業所などへの寄付や小規模作業所の自立支援を目指すイベント「りゅうぎんナイスハートバザール」を開催しました。また、プロスポーツを観戦する機会の少ない小規模施設の通所者への支援を目的に「琉球ゴールデンキングス」の観戦チケットを県社会福祉協議会・セルフセンターへ贈呈しました。

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、281件、1億2,456万円となりました。（平成21年6月現在）

地域における琉球銀行

公益信託による社会貢献(公益信託契約代理店業務)



第14回宇流麻福祉基金助成金授与式

琉球銀行は、公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「宇流麻福祉基金」

(助成実績95件、3,849万円 平成21年6月現在)

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」

(助成実績109件、5,370万円 平成21年6月現在)



第17回りゅうぎん紅型デザイン公募展表彰式

りゅうぎん紅型デザインコンテスト

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域を追求していくことを目的に、「りゅうぎん紅型デザイン公募展」を毎年開催しています。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品については当行のカレンダーや通帳、広報物などに広く活用しています。

～環境保全活動へ参加～

「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ入会

琉球銀行は、昨年7月に「チームマイナス6%」(京都議定書目標達成のためのアクションプラン)への参加に続き、平成21年3月、美しい健全な森林を引き継いでいく活動を推進する「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ県内地銀で初めて入会しました。

「日本の森を守る地方銀行有志の会」は各地方銀行が個別に実施している森林保護活動を業界内でさらに活性化させ、将来的には業界の垣根を越えて日本各地の森林を充実させることを最終目的に平成20年7月に発足しました。

当面の活動は銀行間の情報交換会議を定期的に行い、交換した情報やノウハウを各行の活動に反映させ、森づくり活動のさらなる活性化へつなげることです。将来的には環境関連の金融商品の研究も進める予定です。

沖縄本島北部のやんばる地方は世界でも有数の貴重生物の森であり、ヤンバルクイナやヤンバルテナゴコガネなど、地球上でここにしかない生物も多く、自然環境の保全が求められています。

琉球銀行は、「日本の森を守る地方銀行有志の会」で交換した情報やノウハウを活用し、沖縄県の自然環境の保全や持続的な発展につなげていくことを目指します。



第24回

りゅうぎんプレゼンツナイスハートバザールイン沖縄!



ナイスハートバザールオープンセレモニー(贈呈式)

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、平成17年より、「ナイスハートバザールイン沖縄」に協賛しています。

平成20年11月15、16日の両日、琉球ジャスコ南風原店で開催されたバザールでは、障害者の自立を促すことを目的に、授産施設や小規模福祉作業所42団体の製品が展示即売されました。

琉球銀行は協賛企業としてバザール運営費の補助に加え、本店・南風原支店・コザ支店・名護支店のロビーにおいて、バザール出店団体の商品を展示するほか、懸垂幕を掲示するなど宣伝活動をバックアップしました。またバザール当日には、多くの当行職員が、販売やイベントのボランティア・スタッフとして運営を支援しました。今年のイベントは晴天に恵まれ昨年の売上実績を上回る約330万円の実績となりました。



ボランティアスタッフの活動



ボランティアスタッフ



楽しいステージ



屋外での販売



屋内での販売